

建築家・隈研吾氏が手掛けた新エリアがオープン 京都・四条烏丸の複合商業施設「COCON KARASUMA」 2021年7月22日（木）、古から今に、そして未来へつながるリノベーション

京都・四条烏丸の複合商業施設「COCON KARASUMA（古今烏丸）」（京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町620番地）は17年ぶりのリノベーションを行い、2021年7月22日（木）に新エリアがオープンいたします。開業時に引き続き、設計・デザインは建築家・隈研吾氏が手掛けています。



烏丸通に面したテラスを創出した外観（イメージ）



テラス上部には「WOOD-CLOUD」を施す（イメージ）

「COCON KARASUMA」は1938（昭和13）年竣工の近代建築ビル「旧丸紅ビル」を再生し、2004（平成16）年12月4日に開業しました。インテリア・アート・食の分野から「上質な暮らし」を提案するショップやレストラン、映画館、上層階にはオフィスを備えた複合商業施設です。開業時にリノベーションを手掛けたのは世界的に活躍する建築家の隈研吾氏です。「過去と現在、2つの時代の重なりを表現したかった」との思いからリノベーションという再生手法を採用しました。近代の名建築の記憶を留めながら、唐紙の老舗（かまちろう）の文様「天平大雲」（てんびょうおおくも）が描かれた緑色のファサード（正面の外観）が特徴的な四条烏丸のランドマークとして生まれ変わりました。

今回2度目のリノベーションを行ったのは、開業時に増築して作り上げたアトリウムスペースです。設計・デザインは、17年ぶりに再び隈研吾氏が手掛けました。ガラス製のファサードの一部に孔をあけ、雲をイメージしたウッドパネル『WOOD-CLOUD』を施すことで新旧のデザインをインテグレートする烏丸通に面した開放的なテラスを創出しました。通りから中のアクティビティが感じられる開かれた新しい「COCON KARASUMA」の核となります。

屋内には木の板が重なってランドスケープのようにダイナミックな表情をみせる階段を新設しました。重なった木の板の一部は1階のテイクアウト用カフェ提供カウンターやベンチの機能を兼ねることで、通路だった場所に賑わいを創出させます。2階は展示会やポップアップショップなどの多彩なイベントを開催できるスペースとなっており、烏丸通側に作られた半屋外のデッキスペースと、大型引き戸を開け放つことで内外一体となった使い方も可能としています。

新たな魅力を発信できるデザインのアップデートを行うとともに誘客のための視認性強化、老朽劣化部位の改修、温熱環境の改善、防災機能の強化をしました。今回のリノベーションで、新しい時代のスタンダードを表現する複合商業施設となることを目指しました。

＜報道関係の皆様からのお問い合わせ先＞

『COCON KARASUMA』広報事務局 担当：岡本、齊藤
TEL：06-4708-3766 FAX：06-6233-8778 EMAIL：pr@raple.co.jp

COCON KARASUMAについて



旧丸紅ビル



開業時の外観

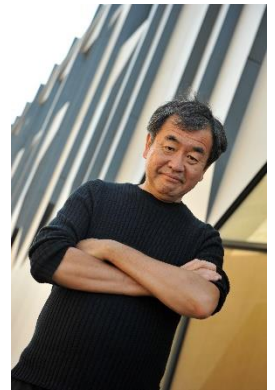
唐長文様「天平大雲」

「COCON KARASUMA」の前身は、丸紅呉服店（現在の丸紅株式会社）が1938（昭和13）年に建てた、当時の京都最大といわれた旧丸紅ビルです。日建設計の源流である設計事務所・長谷部竹腰建築事務所が手掛けた近代の名建築です。第二次世界大戦後、戦火を免れた同ビルは無傷のまま進駐軍（GHQ）に接収された歴史があります。2004（平成16）年に隈研吾氏によるリノベーションを経て再生しました。印象的なタイルの外壁を修復して保存し、商業施設が入る低層部分にガラスのファサードを付加することによって時間の重層を表現しています。ガラスには1階に店を構える唐紙の老舗「唐長」に伝わる文様「天平大雲」を施し、ライトアップすると緑色の柔らかな光を放ち、烏丸通に彩りを添えています。当施設は歴史的に価値のある建築物を優れた改修により再生させた功績から、公益社団法人ロングライフビル推進協会より第16回BELCA賞ベストリフォーム部門を受賞しました。

■隈研吾氏 プロフィール

1954年生。東京大学大学院建築学専攻修了。1990年隈研吾建築都市設計事務所設立。東京大学教授を経て、現在、東京大学特別教授・名誉教授。

1964年東京オリンピック時に見た丹下健三の代々木屋内競技場に衝撃を受け、幼少期より建築家を目指す。これまで20か国を超す国々で建築を設計し、日本建築学会賞、国際木の建築賞（フィンランド）、国際石の建築賞（イタリア）ほか、国内外で様々な賞を受けている。その土地の環境、文化に溶け込む建築を目指し、ヒューマンスケールのやさしく、やわらかなデザインを提案している。また、コンクリートや鉄に代わる新しい素材の探求を通じて、工業化社会の後の建築のあり方を追求している。



隈 研吾氏
Photo © J.C.Carbonne

■COCON KARASUMA 施設概要

住 所：京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町620番地

構造規模：鉄筋コンクリート造 地下1階、地上8階

用 途：ショップ、飲食店、映画館、オフィス

運営会社：ケイアイ興産株式会社（京都市下京区）

設計監理：株式会社隈研吾建築都市設計事務所

株式会社三信建築設計事務所

施 工：株式会社竹中工務店 京都支店

U R L： <https://coconkarasuma.com/>



リノベーションした1階入り口部分（イメージ）

<報道関係の皆様からのお問い合わせ先>

『COCON KARASUMA』広報事務局 担当：岡本、齊藤
TEL：06-4708-3766 FAX：06-6233-8778 EMAIL：pr@raple.co.jp